

県立病院ではたらく仲間をつなぐ

2022. 12. 16

No.151

愛知県病院事業庁職員組合  
〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1  
愛知県東大手庁舎内  
電話(052)212-8031 FAX(フーアケス)0120-930-340  
メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp  
発行責任者 安田 将吾

# 病院組合ニュース

## 第18回 定期大会開催



谷口委員長

1年を終え、定期大会を迎えられたのも、役員、組合員の皆様の日ごろからの協力のお陰と思います。今年度を振り返りますと、コロナ禍からウィズコロナに移行しているさなかという感じでありました。ワクチン接種の普及と治療のガイドラ

### 委員長おこしん

11月29日、ルブラ王山において、第18回定期大会を開催しました。(代議員定数56名のところ、出席38名、委任状提出17名、欠席者1名) 大会では、報告として、2022年度の活動、会計中間決算(監査)、選挙管理委員会。議案として、2023年度運動方針、予算、各種委員会委員などについて提案し、質疑答弁の後、賛成多数で承認、可決されました。

インは定まっていき、変異種の出現などで感染者数に比べ重症者数は爆発的なものにはならず、市井(しせい)の方々は新型コロナウイルスの流行に関して当初の敏感さは減じ、背景化、日常になっっているようにも見えます。ただ何らかの感染の波の中で医療現場の大変さは変わっていません。病院組合の3病院は、感染症をメインに治療する病院ではなく各々の高い専門性があり、その治療を続ける中、感染予防のため複雑な業

務は継続しています。組合員の皆さんの日々の業務のご尽力に感謝申し上げます。そのような状況の中で、例年通りの統一要求の交渉、個別要求の交渉や給与改定の交渉だけでなく、看護職員等処遇改善事業に伴う小児センター看護師の調整額の加算に関する提示を受けての交渉や、定年引上げ制度導入に伴う60歳に達した職員の給与等の取扱いについての交渉がありました。先日の統一要求の当局の回答は厳しいものでした。定年引上げに関する回答は医療現場の特殊性に於いて、当局がどこまで理解しているか疑問を抱く交渉でした。今後所属が拾いきれない現場の声を当局や所属に伝えていく必要があります。

事業庁交渉の中には締結の期限も短いものもありましたが、どの交渉でも出来るだけ組合員に情報提供をし、話し合い意見が収集できるような、尽力をしました。今後も組合活動にご理解と参加をお願いします。役員のみならず、良い回答も遠のいてしまします。そのためにも今大会の報告・議案の内容に限らず、今後も組合員の皆さまの活発な意見・討論と協力が必要です。また新規採用職員の加入率も低下傾向であり、役員への勧誘や説明以上に身近な先輩の声の方が、より新規採用職員の耳にはより届くと思うので、加入の促しの声かけもお願いします。組合員数も交渉を進めていくうえで重要な力になります。とあいさつがありました。

## 役員紹介①



執行委員長 安田将吾

組合員のためにがんばります  
よろしくお願ひします

(がんセンター・臨床検査部)

この度、執行委員長を仰せつかりました、がんセンター分会の安田と申します。30歳になる前に他の分会で分会長をしたことがありますが、そのころは若くて、分会のレクなどに力を入れていたと思います。それから、20〜30年近くたちもう定年間際ですが、再度組合の役員を務めることになりました。今後タスクシフトで業務がそれぞれの職種にシフトされると思いますが、そのしわよせとは言いませんが、新しいフロンティアのある中でだけのことができるか、また新しく開拓される仕事において人員要求につなげていければと考えております。

「またね。戻ってきたら一緒に働こうね。」 男性育休の推進の義務化が始まっています。これは企業側から従業員への育休の取得促進が義務化されるというものです。今回、すでに先進して男性の育休に取り組んでいる企業の話も聞きました。

まず、男性が育休を取得しなかった時代の人は、男性が育休取得することについて理解をしにくいですが、そこを

## WOMAN EXPO 2022 winter レポート①

2022年11月26日に東京ミッドタウンにて開催された「WOMAN EXPO 2022 winter」に参加した方のレポートをお届けします!

積極的に理解するのが必要とのこと。管理者側は相談があった場合に「この人の仕事を今後どうしよう?」と思います。育休の1か月前に言われても準備できるものではなく、前もって準備をすることが必要であり、そのためには定期的に1:1ミーティングをして情報をもらうことが必要とのことでした。

がコッパそう。では、次に実際に男性育休を取得された方の話です。①子育ては、家庭によってそれぞれで、最適解が違うことが多い。そのため、周りの子育ては参考にしても比較をしないことが大事。②子育てとキャリアの両立は夫婦二人の問題。自分の育休中はパートナーのキャリアが進むので大きな意味がある。③子育ては事前で決ま

る。妊娠がわかった時点で、保活・住居・育児などをどうするか考えて、上司に報告するべき。④子育て、子供と触れ合う時間は素晴らしい。そして、実際に育休を取得したときに、タイトルの言葉を言われてうれしかったのと、普段からの信頼関係が重要で、そうなるような働き方をしていくのが大事とのことでした。(参加者Aさん)

## 病院組合交流会のお知らせ

名古屋市営交通100周年を記念して、「ナゾキ街歩きゲーム」が現在名古屋市内にて開催中です。組合では交流会として参加を企画しました!! 参加費がとってもお得になっていますので、是非ご参加ください!



日時: 2023年2月18日(土) 3月4日(土) 2日間開催!  
参加費: 500円  
☆詳細は職場に配布のチラシを参照してください☆

10月15・16日と埼玉県及び群馬県で開催された母親大会に参加しました。分科会では「生き生きと働き続けるために〜働き方、くらし、家族、心の健康」をテーマにジャーナリストでもある和光大学名誉教授の竹信三恵子氏の講演を拝聴する機会をいただきました。

この講演では貧困化する日本社会の理由の一つに女性の働きかたの二極化があげられました。これは日本の家庭の経済状況は昭和までの男性が働き女性が家庭や介護を担うスタイルが主流であった

「大黒柱型」から女性も同様に働き家計を支える「二本柱型」を経て、現在は家族全員で家計を支えなくてはならない「家族総働型」へと変容をとげているとのことです。このよ

うな家族総働型の大きな原因はコロナ以前より賃金の低迷など労働市場の問題点のほか、近年のコロナ禍の影響も含まれており、女性雇用者について産業別にみると、もともと多い業種は、「医療、福祉」の640万人でコ

「組合としても夜勤に対する配慮が無いことは、患者さん及び当事者の組合員にとってもデメリットがあると考えており、交渉時にもその旨を病院事業庁に伝えていく。」

え、また現場からも不安の声が上がっていたので、交渉時にはかなりの時間を使って、夜勤のことについて事業庁へ伝えてある。定年まで働くことを考えると、それぞれの施設で考えてくださいというのも限界があると考え

る。組合としても夜勤に対する配慮が無いことは、患者さん及び当事者の組合員にとってもデメリットがあると考えており、交渉時にもその旨を病院事業庁に伝えていく。

「第67回日本母親大会」  
「埼玉・群馬に参加して」  
「参加レポート第2弾」  
現地とオンラインで1万4千人とつながる！

とは2020年の労働調査において女性の非正規雇用者が14万人減少していること。これはただ単純に非正規が減少し正規職員が増加したと手放しで喜べることではなく、

退職を促されるケースもあり非正規雇用の減少に拍車をかけた。では非正規雇用労働者の家計の経済状況としてはどうでしょうか。

2022年度、本部執行部として活躍していただきました。(上段右から)

- 執行委員・拡大執行委員  
谷口 和希さん(精神医療センター)  
岩田 歩子さん(小児センター)  
山田 高裕さん(がんセンター)  
中村 和明さん(小児センター)  
久野 大基さん(がんセンター)  
(下段右から)  
藤原 寛之さん(精神医療センター)  
大島 あずささん(小児センター)  
岩本 実華さん(精神医療センター)  
及川 勇人さん(がんセンター)  
○監査委員  
宮町 優子さん(精神医療センター)  
※写真掲載なし  
加藤 大貴さん(がんセンター)  
宮尾 眞太郎さん(本庁)

1年間、役員あいがとうございました



渡瀬代議員 (小児センター)  
渡瀬 2022年職場要求の取り組みの中の賃金手当に関する要求の「保育士に対して処遇改善の賃上げを行うこと」について詳しく教えてほしい。

近藤代議員 (精神医療センター)  
近藤 定年引上げ制度について、体力的にフルタイムが難しい人は「定年前任用短時間勤務」も選択できるとあるが、これを選択した場合

本部 今回の定年引上げに関する交渉事項は、7割になる給料部分の提示であり、夜勤の条件に関してはメインの交渉部分ではなかった。何度か言うと事業庁から「交渉事項でない」と言われる恐れもあつた。組合としては、今後問題が発生すると考

え、また現場からも不安の声が上がっていたので、交渉時にはかなりの時間を使って、夜勤のことについて事業庁へ伝えてある。定年まで働くことを考えると、それぞれの施設で考えてくださいというのも限界があると考え

その旨を病院組合ニュースに記載した。問題が発生したら、各分会や執行委員会での報告をお願いする。また、看護協会のガイドラインなども事業庁は注視していると言っている。組合としても、他の医療機関の状況や世論、またガイドラインなども確認していく必要があると考える。

11月29日、ルブラ王山にて県職連合第18回定期大会が開催されました。病院組合からは、24名の代議員が出席し(定数37名、委任状提出13名、欠席0名)、今年度の活動等の報告、来年度運動方針等の提案が承認、可決されました。

